

確かな学力向上推進プラン

令和3年 7月
江戸川区立鹿本中学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：都学力調査における到達目標値（教科書の練習レベルの問題）を超える割合																		
教科	平成30年度 結果		令和元年度 目標値		令和元年度 結果		令和2年度 目標値		令和2年度 結果		令和3年度 目標値		令和3年度 結果		令和4年度 目標値		令和4年度 結果	
	国語	25問	67.7%	24問	70%	24問	68.5%	問	70%	問	%	問	70%	問	%	問	%	問
社会	28問	57.9%	27問	60%	27問	50.9%	問	60%	問	%	問	60%	問	%	問	%	問	%
数学	28問	46.8%	23問	50%	23問	53.8%	問	55%	問	%	問	55%	問	%	問	%	問	%
理科	26問	47.7%	25問	50%	25問	46.5%	問	50%	問	%	問	50%	問	%	問	%	問	%
英語	26問	67.0%	24問	70%	24問	47.0%	問	50%	問	%	問	50%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習コンテスト、国語・数学・英語の実施（年3回）プレテストや補習等取組み工夫 夏期休業中や考査期間中の補習教室など、年間で継続的な補習の実施。生徒の学力に応じたきめ細かな指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習コンテスト、国語・数学・英語の実施（年3回）プレテストや補習等取組み工夫 長期休業中明けに、基礎学力テストを実施 夏期休業中や考査期間中の補習教室など、年間で継続的な補習の実施。生徒の学力に応じたきめ細かな指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習コンテスト、国語・数学・英語の実施（年3回）プレテストや補習等取組み工夫 夏期休業中や考査期間中の補習教室など、年間で継続的な補習の実施。生徒の学力に応じたきめ細かな指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習コンテストにおいて、①プレテスト ②本番テストを行い、点数の結果及び伸び率を集計し、生徒の学習意欲に数値として指標し、意欲につなげる工夫を行う。 合格目標：全体の8割を目指す。 補習回数計画：年間40回
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> チャイムと同時に始まる指導の徹底 学ぼうとする意欲を高め、向上する指導（生徒の主体的な取組みを活かした授業の工夫と実施） 三者面談を通して、学習方法のアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> チャイムと同時に始まる指導の徹底 学ぼうとする意欲を高め、向上する指導（生徒の主体的な取組みを活かした授業の工夫と実施） 三者面談を通して、学習方法のアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> チャイムと同時に始まる指導の徹底 学ぼうとする意欲を高め、向上する指導（生徒の主体的な取組みを活かした授業の工夫と実施） 進路を見据えた面談を通して、学習アドバイ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にし、授業規律は守れていますか。（R2 校内アンケート）肯定的な回答 88.9% 話を聞き意欲的に学習に取り組んでいますか（R2 校内アンケート）肯定的な回答 89.4%
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノート「スクログ」の活用 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノート「忘れないそう」の活用 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の健康観察と裏面の学習記録の活用 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事など積極的に取り組んでいますか（R2 校内アンケート）肯定的な回答 79.6%
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> iPadやeラーナの活用、授業を通じ個々の課題の明確化→家庭学習の習慣化を目指す指導 定期考査の学習計画表及び定期考査の記録の点検、活用、家庭学習の方法の意識改善を図る指導 	<ul style="list-style-type: none"> iPad、eラーナの活用、授業を通じ個々の課題の明確化→家庭学習の習慣化を目指す指導 定期考査の学習計画表及び定期考査の記録の点検、活用、家庭学習の方法の意識改善を図る指導 	<ul style="list-style-type: none"> iPad、eラーナの活用、授業を通じ個々の課題の明確化→家庭学習の習慣化を目指す指導 定期考査の学習計画表及び定期考査の記録の点検、活用、家庭学習の方法の意識改善を図る指導 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習習慣が身についていますか。目安：1日80分以上（R2 校内アンケート）肯定的な回答 1年45.8% 2年23.6% 3年59.7%
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や講演会等、講話を聞いて文章にまとめる力をつける継続的な指導の取り組み 各教科「学び合い」の学習活動を設定 自分の考えや調べ学習を発表する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や講演会等、講話を聞いて文章にまとめる力をつける継続的な指導の取り組み 各教科「学び合い」の学習活動を設定 自分の考えや調べ学習を発表する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や講演会等、講話を聞いて文章にまとめる力をつける継続的な指導の取り組み 各教科「学び合い」の学習活動を設定 自分の考えや調べ学習を発表する場面の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や行事などで発表や活躍の場がありますか。（R2 校内アンケート）肯定的な回答 81.3%
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業観察研修による指導力の向上 生徒、保護者による授業評価の実施 校内研修によるICT等活動の向上 各教科の指導の重点の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業観察研修による指導力の向上 生徒、保護者による授業評価の実施 教育課題実践推進によるICT等活動の向上 各教科の指導の重点の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業観察研修による指導力の向上 生徒、保護者による授業評価の実施 教育課題実践推進によるICT等活動の向上 各教科の指導の重点の改善 	<ul style="list-style-type: none"> （各教科）授業内容が分かりやすいか。各教科、生徒からの校内授業アンケートを実施。集計に基づき、各教科で授業改善内容を図る。

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きを反復練習させ、基礎基本の定着を図る。 短作文を書かせ、自分の考えを「意見」「理由」「まとめ」の三部構成で簡潔にまとめる力を養う。 テーマに沿ったスピーチを行い、表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 要点を的確につかみ、短くまとめる要約作業を取り入れる。 グループワークなどを通じ、自分の意見を発言するときは根拠をもとにし、他者の意見を尊重して自分の考えを深める。 学習した言葉や漢字を活用して短文作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見に説得力をもたせるために、意見の根拠が明確に伝わるような文章を書く練習をする。また、話す力を伸ばす。 受験問題等、多くの文章を読み、文章の構成や要点を的確につかむ。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の考えを持つことができるよう、提示する資料を工夫する。 さまざまな情報や生徒同士の意見交換を通して「深い学び」を達成できるよう、提示資料や授業方法を工夫する。 ICT機器の活用により、これまでよりも多くの生徒が考えを表現できる場を創出し、多くの考えに触れられるような授業展開の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自身の意見を論理的に組み立てられるよう、授業進行を工夫する。 さまざまな情報や生徒同士の意見交換を通して「深い学び」を達成できるよう、提示資料や授業方法を工夫する。 ICT機器の活用により、これまでよりも多くの生徒が考えを表現できる場を創出し、多くの考えに触れられるような授業展開の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が関心を高め授業に参加できるよう資料提示を工夫する お互いの考えや意見を発表し、交流する機会をつくる。 分野ごとの知識が関連して「深い学び」につながるよう資料の提示や班活動を実践する。 ICT機器の活用により、これまでよりも多くの生徒が考えを表現できる場を創出し、多くの考えに触れられるような授業展開の工夫を行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習や問題集を通して、基礎的な計算力を身に付ける。 なぜこの計算なのか考え、数学を学問として「深く学ぶ」機会を作る。 デジタル教科書を用いることで視覚的な理解を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習や問題集を通して、基礎的な計算力を身に付ける。 なぜこの計算なのか考え、数学を学問として「深く学ぶ」機会を作る。 デジタル教科書を用いることで視覚的な理解を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習や問題集を通して、基礎的な計算力を身に付ける。 なぜこの計算なのか考え、数学を学問として「深く学ぶ」機会を作る。 デジタル教科書を用いることで視覚的な理解を促す。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、必ず実験や観察を実施し、生徒の知的好奇心や探求心を育む。 実験レポートの作成を通して、理科的な見方・考え方の基礎を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察、科学に関する時事ニュースなどを取り上げ、理科に対する興味関心を高める。 実験における考察の仕方の徹底を図り、話し合い活動を充実させて、思考力・表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを通して、学習内容の理解、定着を図る。 実験結果を表、グラフにまとめ分析し、思考する学習活動を通して、「深い学び」につながる学習を計画的に行う。 現象を理解できるように動画を活用し、視覚的に理解を促す。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に対する興味・関心を持てるような教材を工夫し、音楽を演奏する楽しさ、鑑賞する楽しさを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏や鑑賞を通して曲想を感じとらせ、表情豊かに演奏する表現力や音楽を聴いて心が豊かになる感受性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな時代・国の音楽に触れる機会を増やし、日本の伝統音楽の持つ特徴を感じ取らせる。 日本や世界の音楽の歴史について学び、現代の音楽に与えた影響について考察させる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 作品鑑賞の際には、様々な視点から作品を鑑賞し、自分の見方や気づきが得られるよう資料作りを工夫する。 また、導入の段階で自分の思いや感情を引き出せるように発問や資料提示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> デザインの領域では「見る人、使う人」の視点を意識させ、使用の目的や情報の伝達などを考えた作品作りを行う。 作品鑑賞の際には、話し合いや自分の考えをまとめる活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品鑑賞を通して、社会における美術の役割や日本の文化や伝統について学べるよう意識して題材設定を行う。 今まで学習してきた技術や素材の知識を活用し、自分のイメージの表現ができるよう題材設定を行う。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動を身に着けて、それらを組み合わせることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て、学校生活や家庭生活の中で実践できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て、学校生活や家庭生活の中で実践し、健康の保持増進や体力の向上を図らせる。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> 社会や環境とのかかわりをふまえ、話し合い活動を行うことで自ら学ぶ意識を高める。 自らの課題をみつけ、学習内容を日常生活で活かせる実習を計画する。ICTを活用し、技能を身につける授業工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学ぶ姿勢を育むため、グループワークを活用し話し合いの授業を行う。 衣、食、住、消費生活や家族の生活について主体的に学び、基礎技術を身につけ、進んで活用する指導をさらに進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会についての正しい知識と、これからの社会について自ら考えられるよう調べ学習や話し合い活動を充実させる。 将来、一人暮らしができるよう積み重ねた知識を今後、生活や社会にどのように実践していくか示すことを重視する。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを踏みながら基礎内容を定着させる。 言語活動を通して、生徒が互いに助け合い、情報を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを踏みながら基礎内容を定着させる。 言語を通しその背景にある文化や歴史への興味を育て、多様性を認め合う姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを踏みながら基礎内容を定着させる。 スピーチやコンテストなど発表する場を積極的に設け、英語で自分の考えや思い、意見を相手に伝える力を高める。

